



第10号

発行 平成18年9月25日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 黒沢 英宣

# かがやき

## 目次

新会長あいさつ ~ お客様はだれ? ~  
よろしく ~ 普及課の廣原さんと警備員の人見さんを紹介しませう ~  
参加してください!! ~ ボランティア研修会と、まなびピアのイベントに ~  
ボランティア保険について  
県立図書館ボランティア協議会って?  
ボランティア ニュース  
ボランティア協議会の議事録 (抜すい)  
編集後記



## 新会長あいさつ



### “ お客様はだれ? ”

茨城県立図書館 ボランティア協議会

平成18年度会長 福田 陽一

私たちは県立図書館でボランティア活動をしています。

「誰のため」に活動しているのでしょうか? 「誰のため」に活動したいと思立って、ボランティアに登録したのでしょうか?

言うまでもなく私達のお客様は、図書館の利用者であり、また図書館の職員です。ですから、私達の活動した結果は、図書館の利用者に或いは図書館職員に満足してい

ただけるような活動であってほしいと思います。

しかし、それだけではありません。もっと大切なことがあります。

私たちは活動する過程で、多くの人と係わり、多くの人と



お知り合いになり、そして多くのことを学んで、自らも成長していくことでしょう。世のため人のためにボランティア活動することは、とりもなおさず自分自身のために活動しているのです。ですから、「本当のお客様」は「自分自身」ではないでしょうか。

「ボランティア活動は生涯学習の一環である」と言われる由縁は、ここにあるのだと思います。

折角ボランティアに登録したけれども、活動されていない方が多いようです。そのような方は、委員長・班長あるいは分野担

当の職員とのコンタクトを密にして、とにかく、手当たり次第に「動いて」みましょう。そして自分自身に適した活動の場を見つけて、自分自身が満足できるまで活動してみましょう。

また、それを受ける立場にあり、活動をまとめておられる委員長や班長さんは、活動のやり方、仕組み、活動環境の改善などに常日頃気配りして、活動規模の拡大と活動の質の向上に努めていただくよう、お願いいたします。



## よ ろ し く



\*\*\* 普及課の廣原さんと警備員の人見さんを紹介します \*\*\*

「友部中学の保健体育の先生でした」

普及課・廣原幸子さん

『普及課』は、読書活動の推進と普及啓発事業等を行い、ボランティア活動を担当しています。



廣原さんに聞きました。

ボランティアの現状について

それぞれの立場でよく勉強されていると思います。

よりよい活動の為に独自の研修や情報交換なども活発で、今どきの受験生より熱意を感じています。

ボランティアにのぞむことは

「活動を継続して欲しい」この一言です。

職員とボランティアをつなぐために

できる限り、一緒に活動をしたいです。研修会、見学会などの場に参加しながら、皆さんと共に自分を深めたいと思います。

〔広報 金澤 鈴枝〕

「いつもお世話になります」

警備員・人見徹さん

入り口で駐車券に押印してくださっている人見徹さんにお話を伺いました。一日約2,500人の来館者の駐車カードに時間を書き込み、押印くださるそうです。その他、毎日二回館内巡回を行うとか。一番お困りになるのは、若いお母さんたちが子どもを注意しないこと。自動ドアの開閉に巻き込まれないかと、とても心配だそうです。館内への行き帰り、ちょっと一声ご挨拶したいですね。

〔広報 上野 清子〕



参加してください!!



ボランティア精神を發揮して

1. ボランティア研修会が開催されます。  
今回は「まなびピアいばらき2006」の  
事業として一般の来館者にも参加を呼び  
かけ、共にボランティアについて考えた  
いと思います。

開催日時

平成 18 年 10 月 8 日(日)10:00 ~

場所 県立図書館視聴覚ホール

講師 大里晃弘先生

演題 「ボランティアとともに生きる」  
~ 失明後 23 年目の再挑戦で医師国  
家試験合格 ~

講師のプロフィール:

県立図書館代読サービスの利用者です。  
東京医科歯科大卒。精神科医を目指し研  
修に励んでおられる。ひたちなか市在住。

3. 「いばらき読書フェスティバル2006」に参加しましょう。

開催日時

平成 18 年 10 月 29 日(日)9:00 ~ 15:30

当日の会場準備、後片付け、総合案内、児  
童おはなし会、コ・ヒ・ショップ、着ぐる  
みの係員などについて、図書館から募集の  
通知が發送されます。ご協力ください。

2. 「まなびピアいばらき2006」  
を盛りあげましょう。

県立図書館ボランティアも次のよう  
なイベントを計画し、協力して「まな  
びピアいばらき2006」に参加しま  
す。ご来場ください。

①10月6日(金)10:00 ~ 15:30

(3F 会議室とボランティア室)

(1) 図書館ボランティアの活動状況を  
パネル展示により紹介(各ボランテ  
ィアの日常活動)

(2) 児童サ・ビスボランティアの活動  
をパネル展示により紹介

(3) 図書修理ボランティア活動の一日  
体験希望者の受入れと修理の実践

(4) 広報ボランティアによる広報紙  
「輝(かがやき)」の創刊号から最  
新号までのバックナンバ - を展示

10月7日(土)11:00 ~ 12:00

13:30 ~ 14:30

10月8日(日)13:00 ~ 14:30

(1F おはなし室)

児童サ・ビスボランティアがおはな  
し会を行う。

10月8日(日)10:00 ~ 11:30

(視聴覚ホ - ル)

講演会

「ボランティアとともに生きる」

(ボランティア研修会・一般来館  
者とともに聴取する)

講師 大里晃弘 氏

受付、講師接待等は、代読サ・ビス  
ボランティアが行う。

パネル展示の準備作業のため、

10月5日(木)10:00

ボランティア室に集合してください。

(各ボランティア分野から1~2名)

ご協力をお願いいたします。



## ボランティア保険について



私たち図書館ボランティア一同はボランティア保険に一括加入しています。さてこの保険の概要についてチョットだけ勉強してみましょう。

全員が被保険者です。貴方に事故など発生したとき、役立つ保険に加入し、保険料は図書館が負担しています。

では、補償内容について説明いたしましょう。

- (1) 活動（主目的のほか会議、学習会も含まます）
- (2) 活動対象範囲（自宅から活動場所までの往復途上の事故までを含まます）
- (3) 事故以外では食中毒、熱中症も対象になります。
- (4) 入院時は 1,000 日まで補償します。
- (5) 天災（地震・噴火・津波、台風などの風水害）によるケガも補償します。
- (6) 第三者の故意による加害行為（ひき逃げ）によるケガの場合に補償は通常の 2 倍となります。

保険金の種類	補償の内容	補償金額	プラン
死亡保険金	事故発生から 180 日以内死亡	1,301 万円	A
後遺障害保険金	事故発生から 180 日以内の重大な障害を残すとき、その程度に応じて 3% ~ 100% の支払い	限度額 1,301 万円	A
入院保険金	事故日から 1,000 日以内 1 日当り	7,000 円	A
通院保険金	事故日から 1,000 日以内 90 日限度	4,500 円	A
手術保険金	ケガの手術に応じ、入院保険金の 10 倍、20 倍、40 倍の支払い	- -	A
賠償責任保険金	第三者の身体・財物への損害を与えた場合、法律上の責任を負ったとき	限度額 5 億円	A

（注 1）私たち加入の掛け金（年額）は基本タイプのプラン A では 300 円です。

この他にプラン B、C、天災タイプ A、B、C があります。（掛け金が多い）

（注 2）対象となるボランティア活動 国内での無償活動に限ります。

（注 3）事故発生 30 日以内に図書館事務局を通じて、社会福祉協議会へ通告します。

この保険は概略以上の内容です。頭の隅に入れておいてください。

この保険適用ゼロが続くことを心から願っています。

このような補償を備えていることも考え合わせて、ボランティア活動にはより積極的に、かつ継続して携わることとしましょう。明日の日本を背負う児童たちの発展向上を期待して。

〔広報 上條 哲〕

## ボランティアの声

### ボランティア証明カ - ドの交付について

ボランティア証明（カ - ド）は、発行されているのでしょうか？  
期限切れになっているかと思うのですが・・・発行願います。（匿名）

4/6

これについては、希望の方に発行しますとの普及課の回答です。

詳しくは、ボランティア室の掲示板をご覧くださいとのことです。

（広報ボランティア）



## 県立図書館ボランティア協議会って？



ボランティア協議会は・・・

ボランティア仲間やボランティアと図書館との意思の疎通や連携を図り、円滑な活動を推進できるよう、各分野の委員長と副委員長で構成しています。

会議は、必要に応じて（年3回～4回程度）会長が召集し開かれます。図書館普及課長及び担当職員も同席し、意見交換します。協議の内容は、主に次のような事項です。

- (1) 各分野からの要望のとりまとめと検討。
- (2) ボランティア研修会・見学会に関する事。
- (3) ボランティア活動資金の確保に関する事。
- (4) 図書館行事とボランティアの参加協力に関する事。
- (5) その他ボランティア活動の推進に関する事。

なお、この協議会の議事録の抜すいを広報「輝（かがやき）」の中で、皆さんに公表しています。ご意見ご希望を3階ボランティア室にある「ボランティアの声」のボックスへ投稿してください。投稿用紙も備えてあります。

協議会の構成メンバーは次の通りです。

番号	分野別	構成員		登録 ボランティア
1	代読サ・ビス	丹委員長	益谷副委員長	29人
2	児童サ・ビス	西村委員長	佐藤副委員長	83人
3	資料配架	黒屋委員長	吉田副委員長	53人
4	三の丸書庫	山口委員長	石井副委員長	21人
5	広報	黒沢委員長	金澤副委員長	7人
6	郷土資料整理	柚原委員長	- -	5人
7	外国語資料整理	中川委員長	小林副委員長	9人
8	図書修理	川上委員長	帯刀副委員長	8人
9	特技を活かした ボランティア	福田委員長	- -	2人
10	環境美化	- -	- -	5人
11	イベント	- -	- -	12人
図書館普及課（事務局）		小堀課長、廣原社会教育主事		

（注1） は会長、 は副会長

（注2）環境美化ボランティアとイベントボランティアでは、正副委員長が選出されていないので、協議会に参加していない。

（注3）登録ボランティアの人数には1人で複数のボランティアに登録している場合には、それぞれの分野の数に含まれている。

〔広報 黒澤 英宣〕



## ボランティア ニュース



### NHK全国巡回朗読セミナーに参加

9月8日、水戸生涯学習センターで今年も行われた標記の会に、代読サービスから5名が参加した。福島県からの受講者もあり有意義で貴重な一日でした。

〔代読 菊池 節子〕

### 2006年図書館音訳者養成講座

9月11日～13日にかけて日本図書館協会に於いてスキルアップ講座が開かれた。一日目は主旨説明等の後 NHK 日本語センターの杉澤氏の「話すと読むの間にあるもの」の講話と朗読法の実践、二日目は川上氏の「利用者にとって聴き易い録音図書、

雑誌とは」の講話と音声処理の実践、三日目は対面朗読について方法と実践がなされた。事前の課題の提出に沿った内容の濃い講座となった。

〔代読 滝田、立川、丹〕

### 事例発表で表彰されました



平成18年7月7日、「茨城県読書をすすめる県民のつどい」で、児童サービスボランティア金曜班が表彰されました。おめでとうございます。

## ボランティア協議会議事録（抜すい）

～ 平成18・9・2開催 ～

### 水戸西ロータリークラブからの活動資金援助について

8月30日の水戸西ロータリークラブ例会にて、福田会長が平成17年度のボランティア活動状況を報告し、昨年度の倍額10万円の支援金をいただいた。

用途については、これまでの経緯にこだわらず、各分野毎に委員長を通じて協議会（10月14日予定）に要望を提出する。

### 研修会について

本紙別項の通り、10月8日（日）に行う。

### 見学会について

11月18日（土）、レイクエコー（鹿行生涯学習センター：行方市）に行くことに決定した。詳細は後日連絡する。

### まなびピアいばらき2006について

行事計画並びにボランティアの活動内容は本紙別項の通り。

### いばらき読書フェスティバル2006について

詳細は次回協議会（10月14日予定）で確認する。

### ボランティア協議会の会計及び会計監事決定について

会計 黒澤 英宣（広報）

監事 丹 協子（代読）

協議会にはそれぞれのサービス分野から必ず出席するように協力しましょう。

## 編集後記

「輝（かがやき）」10号をお届けいたします。ボランティアの皆様と、図書館サイドとの円滑なコミュニケーションのお役に立てばと思い編集いたしました。



まだまだ不十分で、手探りの広報ですが、皆様のご協力によりよい紙面を作っていくと努力しております。感想など聞かせていただきたいと思います。〔土屋 純子〕